

花植えも、清掃活動も、さわやかに秋本番!

きれいな花の咲く道路、ゴミのない清潔な道路、道行く人の印象に残る道路をめざし、活動を続けている皆さんをご紹介します。

取材
de
キャッチ

白野江植物公園

植物公園と一体になって、道行く人や訪れた人の目を楽しませたい。

この道路花壇は、白野江植物公園の入口前にあるためか、植物公園の花壇だと思っている方も多いのだそうです。その分、メンバーである公園のスタッフもガーデニングボランティアの皆さんも、「それだけに、いつもきれいにしておかなければという気持ちになる」と話してくれました。花や植物が好きなたちが集まっているため、「できるだけプロに近くところで花壇づくりに取り組みたい」と、花植えの際もただ植えるだけでなく、花の表と裏を考えて植える、咲いた時にきれいに見えるようラインを揃えるなどの配慮をしています。夏の水やりも、普通に水をかけただけでは表面は濡れていても下にまで水が届いておらず、枯らしてしまうこともあるのだそうです。そこで、花の周囲に穴をあけ、水を下まで浸透させるなどの工夫をしています。

自分の受け持った花壇が可愛くて、活動日以外にも、通りがかった時にゴミに気づいたら掃除をしたり、草を抜いたり、日常的に愛情いっぱいの世話をしています。



取材
de
キャッチ

サンサンねっと北九州

さらに5年、10年と活動を続けていくための新たな一歩に。

サンサンねっと北九州では、冬はオレンジ色のジャンパー、夏は黄色のベストを着用し、目立つ服装で安全な清掃活動を行っています。

葛原五丁目のバス停付近から、安部山方面と寺迫口方面の二手に分かれ、清掃活動がスタートします。先頭は代表の南さん手作りのオリジナルリヤカーで、大きなゴミ袋がセットできるようになったスグレモノ。約1時間で多くのゴミが集まりましたが、以前に比べるとゴミが減ってきており、市民のまち美化意識が高くなってきたのを感じるそうです。

この日は、通常の清掃活動の後、サンサンねっと北九州発足10周年の式典が行われ、南代表からメンバーの皆さんに国土交通大臣表彰受賞のうれしい報告がありました。「自分たちがやらなければ」という使命感と団結力で活動を継続している皆さんにとって、さらに5年、10年と活動を続けていくための記念すべき日となりました。



No.23



北九州市 道路を愛するみなさんを応援! 道路サポーターだより

継続は力なり!

北九州市道路サポーターの会22団体が 国土交通大臣表彰を受賞



平成25年8月29日(木)西日本総合展示場新館3階で、平成25年度「道路ふれあい月間」における道路愛護団体等の国土交通大臣表彰を受賞した北九州市道路サポーターへの感謝状の伝達式がありました。受賞したのは、北九州市道路サポーターの会の登録5年以上の22団体です。

国土交通省では、毎年8月1日から8月31日までの1箇月間を「道路ふれあい月間」とし、毎年、路面の清掃、花壇の整備等、多年にわたり功績のあった民間の団体又は個人に対して国土交通大臣賞から表彰状が贈られます。その目的は、道路の役割や重要性を認識し、道路の正しい利用の啓発を図ること。そして道路を常に広く、美しく、安全に利用する気運を高めることにあります。

伝達式は、同日同会場で開催された道守ふくおか会議(北九州ブロック)意見交換会のプログラムの一部として行われ、国土交通大臣からの感謝状が授与されました。

あわせて、国土交通省北九州国道事務所長のご配慮により、各団体に所長からの感謝状が授与されました。

やや緊張の面持ちの中で始まった表彰式も、記念撮影の頃には輝く笑顔に変わっていました。「活動を始めて10年、何かイベントをと企画していたところに、表彰の話をいただきました。メンバーと一緒に喜びを共有し、これを励みに、さらに5年、10年と続けていきたい」とうれしい気持ちを語ってくれました。

平成25年度「道路ふれあい月間」表彰受賞団体 [認定日順] (2007北九州市道路サポーターの会)

1	リビオ・フラワーロード[八幡東区]	12	三郎丸四町内クローバーの会[小倉北区]
2	桃レンジャー[八幡東区]	13	九州共立大学[八幡西区]
3	室町一丁目町内会[小倉北区]	14	行学学園ボランティアグループ[若松区]
4	永西フラワーロードの会[八幡西区]	15	さやふく環境サポーター[戸畑区]
5	黄金町ビューティフル・クラブ[門司区]	16	木町本町町内会[小倉北区]
6	浅生まちづくり協議会[戸畑区]	17	白野江植物公園[門司区]
7	葛原第二道路サポーターの会[小倉南区]	18	明治安田生命北九州支社[小倉北区]
8	戸畑区老人クラブ友親会[戸畑区]	19	いちごの会[八幡西区]
9	東丸山地区自治協議会[戸畑区]	20	高見中央通り[八幡東区]
10	瑞穂1,2,3,4自治会 瑞穂会[小倉北区]	21	サンサンねっと北九州[小倉南区]
11	株式会社吉川システック[八幡東区]	22	深町桜会[若松区]

今回は皆さんの活動地域へお邪魔するかもしれません…。 ●今回ご紹介した団体へのお問い合わせは、下記事務局まで。

ホームページをご覧ください!

●北九州市道路サポーターのホームページアドレス

<http://www.road-supporter.com/>

北九州市道路サポーターのホームページは、知りたいことがすぐわかるような構成とし、活動レポートやニュースなど、「サポーターだより」でご紹介しきれない情報や各区の認定団体さんを掲載しています。「サポーターだより」ともどもご活用ください。

新規団体をご紹介いただける方、清掃や花苗・取材などについてのご相談、お問い合わせは…

[東部事務局(門司区、小倉北区、小倉南区、戸畑区)] NPO法人 ふきの会 Tel.(093)511-6700 担当:古海
[西部事務局(若松区、八幡東区、八幡西区)] NPO法人 タウンモバイルネットワーク北九州 Tel.(093)531-2200 担当:濱田

区会の声を幹事会へ！

第2回北九州市道路サポーターの会幹事会を開催

平成25年9月11日(水)本庁12階121会議室において、第2回北九州市道路サポーターの会幹事会が開かれました。幹事会に出席したのは、各区の代表、北九州市道路計画課長。新たな仕組みとなってスタートした北九州市道路サポーターの会にとって2回目となる幹事会では、各区会が出された意見への対応や第9回総会についての意見交換を行いました。



幹事会要旨

(1)第1回各区会における意見等への対応について

■1団体に設置可能な散水栓箇所の増加について

- ボランティア活動のあり方を踏まえ、事務局からの対応案を提示する。活動範囲として延長が長い場合に散水栓の設置箇所を増やしたいという要望があるので、1団体1箇所設置の原則はそのままにして、運用として、その団体を分割し、新たな団体を立ち上げ、団体毎に散水栓を設置する方法。ただし、従来どおり、設置に1年の期間を空ける必要がある。
 - うまく活動している団体を分割するのは問題がある。
 - 水やりの大変さを理解してほしい。
- 運用として、現地状況等にあわせて散水栓を設置できるように検討する。

■清掃用具における支援対象種類の拡大について

- 事務局からの対応案としては、道路サポーター活動に相応しい用具について、活動団体のニーズを把握するために、アンケートを実施し、その結果を用具リストに反映するようにしたい。
- ※アンケートをもとにした対応案を、11月下旬開催の第3回幹事会で提示する予定です。

■区会でのその他の意見について

- 大人数で活動するときに、軍手が用意できない状況にある。
- 用具の貸与及び支給については、人数に合わせた上限額のなかで、数が決まるルールがある。その運用面等での対応案を検討する。
- 帽子の支給を追加してほしい。活動のPRにもなる。
- 帽子については、支給数は50人を上限とするルールがあり、メンバーが増えたときなど追加ができることの周知を図りたい。
- プランターの支給要望に対しては対応可能なのか。
- 道路サポーターとして、プランターの支給はしていない。市民花壇との違いがよく分からず、一緒にした方が分かりやすいという意見があるので、課題を整理する。

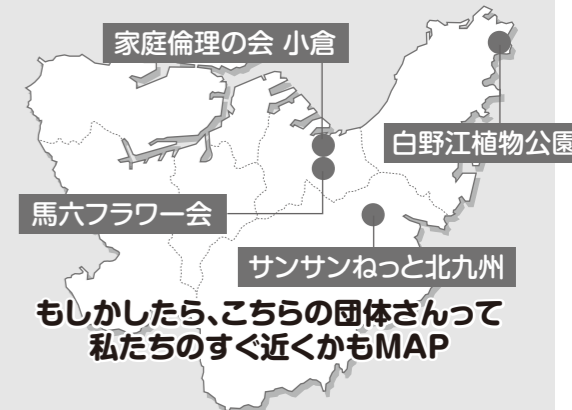
(2)第9回総会について

- 今後、建設局が支援する4つのボランティア活動の団体が会し、連携・交流を図るため及びそれらの活動について市民へのPRと理解を得るためのシンポジウムを開催予定(日時、会場は未定)である。そのなかで、例年開催の総会は、議案がなければ、そのシンポジウムに引き続き、近くの会場で交流会を行うかたちを提案したい。
 - 今年度から新たな仕組みが始動したのだから、総会でその実施状況などを報告したほうがよい。
 - 総会で行ってきた団体の活動報告は、シンポジウムのなかで、活動紹介を行うことでよいのではないか。
- これらを踏まえて、総会内容を検討する。

団体交流掲示板

～この道では、どんな皆さんが活動しているの?～

身近なところで、いきいきと活動を継続している団体の皆さん。
それぞれのちょっとした工夫やアイデアが、
これからの活動のヒントになるかもしれません。



もしかしたら、こちらの団体さんって
私たちのすぐ近くかもMAP

取材
de
キャッチ

馬六フラワー会

自分たちの住んでいる街は、自分たちできれいに。

6月の花植えの日。手分けして、サルビア、ポーチュラカ、マリーゴールドの3種類を植えていきます。

それぞれの花壇に分かれて花植えの開始。植える前に土と玉肥を混ぜて土を平らにする、いきなり植えるのではなく、花を花壇に配置したのち、全体のバランスを調整して植えるなど、作業中のメンバーに代表の児玉さんからの指示が飛びます。

30代、40代の若い世代や子どもたちも楽しそうに花を植えていきます。和気あいあいとおしゃべりしながらも作業の手を休めないみなさんの頑張り、予定よりも早く花植えが終了。ごみを集め、花壇の周りの道路を清掃、花壇に水をまいて終了です。モノレール沿いの花壇に色とりどりの花が咲き、道行く人の目を楽しませてくれそうです。

「みんなが自分たちでできることをやろうという意識を持ち、花壇やきれいになった通りを見た人が、『ごみのポイ捨てをやめよう』と思ってもらえればうれしい」と、頑張っている活動を続けています。



取材
de
キャッチ

家庭倫理の会 小倉

ゴミを捨てにくい、きれいで気持ちいい街にしていきたい。

日曜日の早朝、JR小倉駅新幹線口にグリーンブルソンの着たメンバーがホウキとチリトリ、ゴミ袋を手に集まっています。

「家庭倫理の会 小倉」の清掃は「社会浄化運動(日にひとつよいことを)」の一環として続けているもので、地域社会に貢献したいというメンバーが自発的に小倉駅新幹線口に集合。参加者の人数は日によって異なりますが、毎回30名ほどのメンバーが集まります。点呼と清掃エリアの確認の後、何班かに分かれて、道路に落ちているゴミや枯葉、たばこの吸殻などを集めて回ります。長年にわたってJR小倉駅新幹線口周辺の清掃を続けているメンバーからは、「最近ではゴミが減っていたのに、今日はたばこの吸殻が多かった」という声も聞かれました。

